

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

安倍首相は憲法施行70周年の5月3日に、平和主義の憲法9条を書き換えて自衛隊を明記する、と発言しました。憲法99条には、大臣の「憲法擁護尊重義務」があるのに、それを完全に放り投げた、憲法違反の発言です。しかも安倍首相は、説明を求められた国会の場で、「新聞を熟読して」ほしい、などと、説明を拒むセリフを悪びれもなく言い放ちました。国会を、そして国民を鼻であしらうような、あまりにも傲慢で無責任な態度ではないでしょうか。日本共産党は、安倍首相による憲法9条の改悪を絶対に認めません。多くの市民のみなさんと力を合わせ、憲法を守るために、全力を尽くします。

みなさん

日本国憲法第9条は、第1項で戦争放棄と、武力による威嚇や武力の行使を放棄すると明記し、第2項で、「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」とはっきり宣言しています。ところが安倍首相は、この1項と2項を残しつつ、新たに第3項を設けて自衛隊を書き加えると言い出しました。首相は、単に「自衛隊を書き込む」だけと言いますが、これはとんでもないごまかしです。たとえば「国際平和のために自衛隊を設置する」とでも書き込めば、「この戦争は平和のためだ」などとこじつけて、いくらでも戦争ができるようになってしまいます。9条2項の「国の交戦権を認めない」という条文を完全に無視して、いわば死文化する狙いです。

そもそも自民党の改憲草案では、「国防軍」を作ると明記しています。安倍首相の真の狙いは、自民党改憲草案と同じく、「自由に戦争できる国づくり」ではないでしょうか。日本共産党は、憲法9条を絶対に守り抜きます。

みなさん

安倍首相は9条の書き換えについて、「機が熟した」などと発言しています。しかし、そもそも国会の憲法審査会では9条について議題に上ったことさえありません。NHKの世論調査では、「政治に優先的に取り組んでほしいこと」の一位は「社会保障」であり、「憲法改正」は最下位の6%です。しかも、「憲法9条が平和に役立つ」という意見が、8割を超えました。憲法9条と平和主義は、どの世論調査でも国民・道民の多数が「変える必要はない」と回答しており、すでに日本国民に深く根ざしています。これを、数の力にものを言わせて覆そうとする狙いは、国民の願いに逆行する、極めて乱暴なたくらみです。日本共産党は国民に寄り添い、平和憲法を必ず守ります。

みなさん

北朝鮮のミサイル・核開発はきびしく非難されるべきです。しかし、安倍首相は軍事力を振りかざす対応ばかりを評価し、六カ国協議による対話はできないと発言しました。いま、韓国の文在寅（ムン・ジェイン）新大統領だけでなく、中国やアメリカも、対話の準備を進めると言い始めています。国連では「核兵器禁止条約」の交渉も進み、紛争は平和的な対話で解決を目指すのが、世界の流れなのです。日本は、国民の不安を利用するかのような態度を改め、むしろ今こそ憲法9条を生かして、平和外交による対話を進めるべきです。日本共産党と野党3党は、「安倍政権の下での憲法改悪に反対する」ことでも何度も合意しています。野党と市民とが力を合わせて、今の横暴な安倍政治を必ずやひっくり返そうではありませんか。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」は、憲法を生かした政治について、詳しく報道しています。日刊紙はひと月3497円、日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げます。この場での訴えとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。